# 「もっきりは年中無休」

出番です！おじいちゃんおばあちゃん

中居　義己さん（太田名部・74歳）

《260》

★…わがいころは、ワガメ、コンブ、カゼ、アワビそれさ、百姓もやり、炭焼ぎもやり、なんでもやったがぁ。養殖（ワカメ、コンブ）は七十歳までやったがぁ。★…昭和三十六年のフエーン大火では運よく家は残ったども、山の財産をごっそり焼がれだがぁ。いだがったなぁ。★…子どもは六人。孫、ひ孫をかでれば二十五人だがぁ。いっぱいだべぇ。★…今はそっつうぶらり、こっつうぶらり、苗しろを管理しながら隠居生活をすてんがぁ。そうすて晩げえさにはもっきり（お酒を飲むこと）、年中無休だがぁ。

# 普代の植物散歩 ⑮

## 「ハマニガナ（きく科）」

大森　竹之助さん（71歳・久慈市在住）

普代浜の砂地に黄色い高さ一〇センチメートル、花の径三センチメートルほどの花だけが、まるで突然のように咲いている。葉もそう目立たない、茎も細いので気がつきにくいからか、花だけが際立って目についてしまう。

地下茎は深く長く横にはえ白い。強い陽光から自らを守るために、葉を茂らせて日陰をつくることもなく、砂上にある花を守るのは、主に丈夫な地下茎だけのようである。

花期は五月ころから十月と長い。砂上に葉だけ見えているので、つまり花と茎と葉の関係は砂の中に隠れて見えないから、時にはこの葉は何の葉かと迷うこともある。

葉をとって液をなめてみると、やはり苦みがある。苦菜の名の由来はここにある。

普代浜周辺（写真：大森さん提供）

# 文芸の世界

川柳（575）

川柳愛好会四月例会作品

考えよう明日に向かってどうするか　嵯峨　待女

春彼岸墓に舞い散る迷い雪

優しくて陽気な人は天国へ　三上　翠香

美人薄命私長生しています

八十才これから先は運まかせ

寒椿わが郷愁をかきたてる　深渡　汀女

晩年の花を薄茶はみさだめる

チャイム鳴り陽気な過疎の春の村

つつがなく明日に向かって夢が増す　太長根英子

うたかたの命と知らず迷い雪

白椿あなたの潔よさが好き

これからに賭けて過去には封印す　加茂野静浪

痩せ蛙明日に向かってにだん跳び

ひと言が足りずに散った寒つばき

春風に押され遊ぼう野原楽し

## 平成16年度　青少年劇場

と　き　6月10日（木）
10：00〜11：30

ところ　普代小学校体育館

内　容　声楽「混声四重奏・マーシャル27演奏会」